

せんだい環境学習館 (たまきさんサロン) の 取り組みについて

1. 施設の概要

①設置目的

環境に関する情報や交流の場を提供し、市民の環境学習及び環境活動を推進

主な事業

- 環境に関するサロン講座の開催
- 子ども達への環境学習の場の提供
- セミナースペースや図書等の貸し出し

1. 施設の概要

②施設の配置

せんだい環境学習館

たまきさんサロン

東北大学大学院環境科学研究科1階
(青葉山新キャンパス内)

児童スペース

セミナースペース

サロンスペース

入口

開館時間

平日 10:00~20:30

土日祝 10:00~17:00

休館日 月、祝日の翌日、年末年始

1. 施設の概要

③各スペースの紹介



セミナースペース

- 定員42名
- 講座等の開催
- 環境学習や会議での利用



サロンスペース

- 広く一般に開放
- 図書の見学、貸し出し(約2,000冊)
- 学習教材の体験

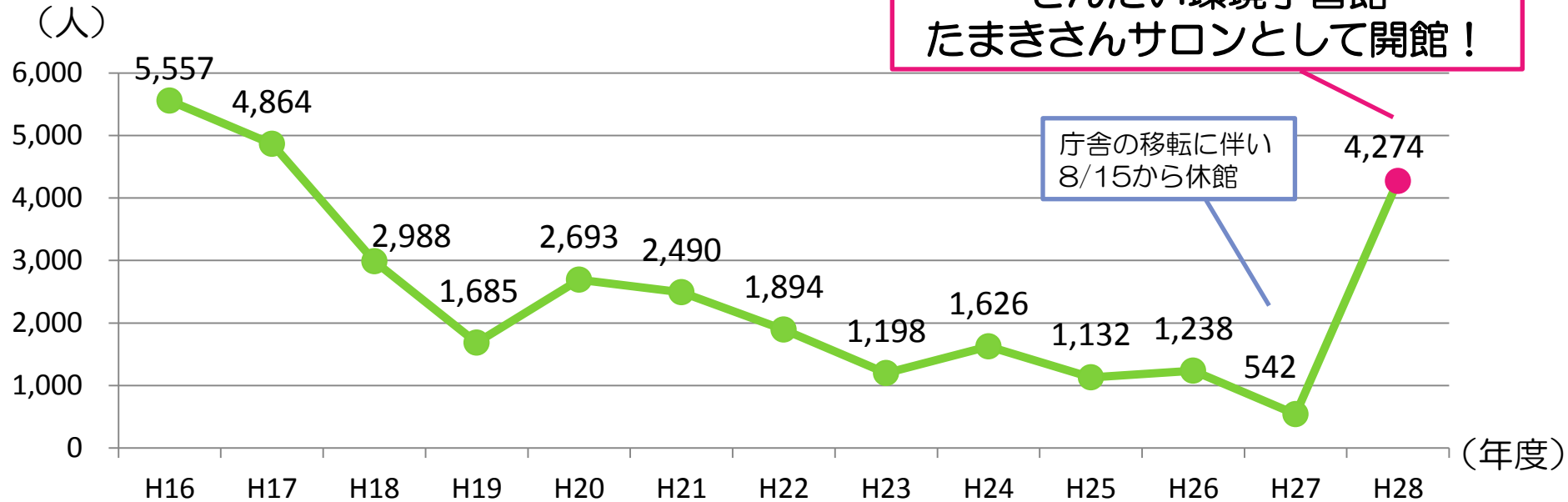


児童スペース

- 児童書を配架
- 親子で共に学ぶことが出来る空間

2. 利用者の状況

①利用者数推移



2. 利用者の状況

②平成28年度利用者内訳

利用者総数：4,274人

<世代別>

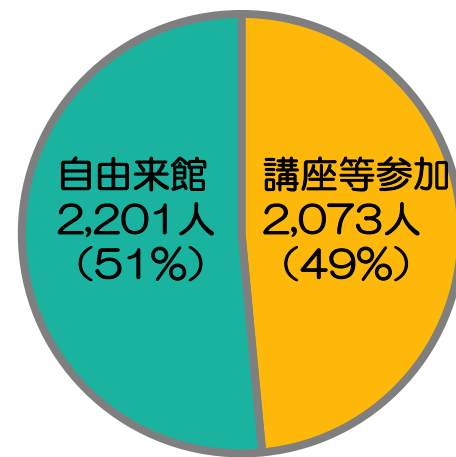
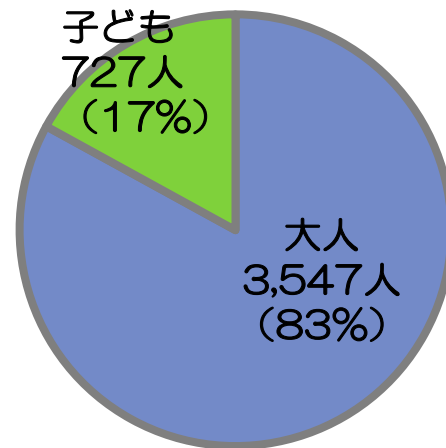
大人：3,547人

子ども：727人
(中学生以下)

<目的別>

講座等参加：2,073人

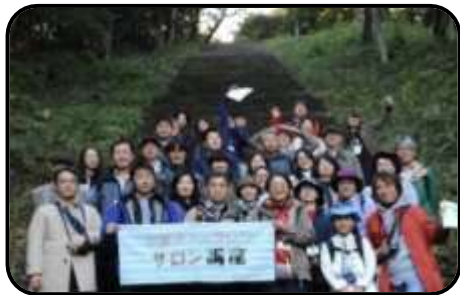
自由来館：2,201人



3. 平成28年度の取り組み

①サロン講座の状況

<一般講座>8回



青葉山の自然を歩いて学ぶ



自然災害と環境問題を考える

<親子向け講座>18回



携帯電話を分解し、金属資源のリサイクルを学習

大学・企業・
NPO等様々な団
体の協力のもと
に講座を実施



動く植物の観察

3. 平成28年度の取り組み

②小学校による環境学習での利用

- 「せんだいE-Action※」参加企業や東北大学と連携した学習



企業の環境への取り組みを学習
(八乙女小学校)



水素自動車の模型を使った体験学習
(柘江小学校)

※せんだいE-Action：市民一人ひとりが未来のエネルギーの使い方を考え、省エネ・創エネ・蓄エネの3Eを推進する市民・企業・行政の協働の取り組み

4. 平成29年度の取り組み

①「たまきさんサロン」の利用の促進に向けて

平成29年度 利用者数目標 5,000人

<取り組みの方向性>

- 子ども向け環境学習の場としての活用推進
- 環境への理解を深める自主事業の充実
- 環境団体等との一層の連携推進

4. 平成29年度の取り組み

②子ども向け環境学習の場としての活用推進

- 東北大学等との連携を活かした学習プログラム集を市内全小学校に配布



環境について学ぶ
全24のプログラム!

番号	講座名	講師	形式	人数 上限	所要 時間 (分)
21	水素で動かす車の未来	東北大学大学院 和田山智正 教授	講義		
22	水素で 自動車模型を動かしてみよう	東北大学大学院 和田山智正 教授	体験		
23	骨を修復するセラミックス ～セメントで骨を治す～	東北大学大学院 上高原理暢 准教授	体験		
24	生体を修復する セラミックスについて 学んでみよう	東北大学大学院 上高原理暢 准教授	講義		



- 小学生向け図書のほか幼児向け絵本を充実
- 図書ポイントカードの導入

4. 平成29年度の取り組み

③環境への理解を深める自主事業の充実

- 多様なテーマのサロン講座を実施



釣り道具に触れながら、身近な川の環境を学ぶ



環境保全上の適切な森林管理について学ぶ

- 新刊を中心とした図書
を幅広く紹介



4. 平成29年度の取り組み

④環境団体等との一層の連携推進

- FEEL Sendai※やせんだいE-Actionなど、様々な環境団体と連携を強化し、環境学習や交流の場としての活用を推進



高校生によるプレゼンテーション
「トウホクサンショウウオの保護活動」
(FEEL Sendai事業)



星空観察会
(せんだいE-Action)

※FEEL Sendai(杜の都の市民環境教育・学習推進会議)：市民、学校、NPO、事業者、行政から組織される市民の環境教育・環境学習を推進する組織